チャレンジデー2017
碧南市に敗れるも80％を超える参加率!!

▲玄さんとチャレンジデー！「歩キングダンス」

5月31日、人口規模がほぼ同じ自治体や地区同士で住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー2017」が行われました。チャレンジデーは、日常的なスポーツの習慣化に向けたきっかけづくりや住民の健康づくりなどを目的とした住民総参加型イベントです。

本市では、ウオーキングや歩キングダンス、ロープジャンプX、グラウンドゴルフ、とよリンピックなどのスポーツイベントに、6万7666人（80・7％）が参加しましたが、碧南市（愛知県）に惜敗しました。

《問合せ》スポーツ振興課☎21－9023

《チャレンジデー2017の結果》

市名	人口	参加者数	参加率
豊岡市	83,893人	67,666人	80.7％
碧南市	72,107人	68,245人	94.6％

校区対抗チャレンジデー

関連イベントとして、8校区のスポーツクラブ21が参加しました。カテゴリーを二つに分け、校区ごとの参加者数を競いました。

《カテゴリー1の順位》

順位	クラブ名	参加者数
1	とよおか新田	417人
2	こくふ	152人
3	ひだか・せいしゅう	143人
4	とよおか三江	132人

《カテゴリー2の順位》

順位	クラブ名	参加者数
1	たかはし	259人
2	とよおか中筋	149人
3	とよおか奈佐	89人

ロープジャンプX

3人以上の大縄跳び。「人数×跳んだ回数」をポイントとして競います。

《順位》①ニッタARKNM②ニッタKSK③ニッタKK※37チーム参加

▲対戦相手の勝利を称え相手自治体の市旗を庁舎のメーンポールに1週間掲揚

スマートウエルネスシティ首長研究会を開催
健康まちづくりを進める市町長が城崎に集結！

「健幸（ウエルネス）都市」の実現を目指すスマートウエルネスシティ首長研究会には、現在35都道府県の67区市町が加盟し、毎年2回意見交換の場が持たれています。

5月30・31日に、城崎国際アートセンターで開催された今回の会合には、全国37の自治体から市長や町長、担当職員ら約180人が参加しました。他都市の実践例や、最新の話題に触れた刺激的な2日間。豊岡に「歩いて暮らすまちづくり」がさらに広がるきっかけになることが期待されます。

《問合せ》健康増進課☎21－9095

▲健康まちづくりを進める市町長が取組みを発表

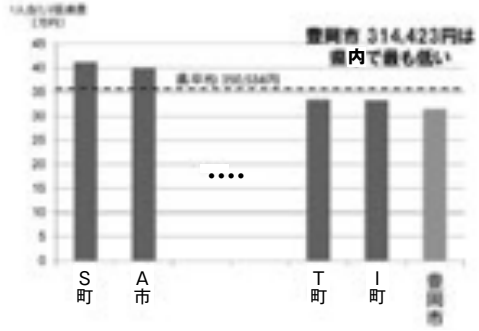
中貝市長の発表の要旨

健康増進施設「ウェルストーク豊岡」や、地域の健康づくりの場「玄さん元気教室」では、体力アップはもちろん、医療費への効果も確認されています。玄さん元気教室は120団体を超えるまで拡大！　市全域への普及を目指します。

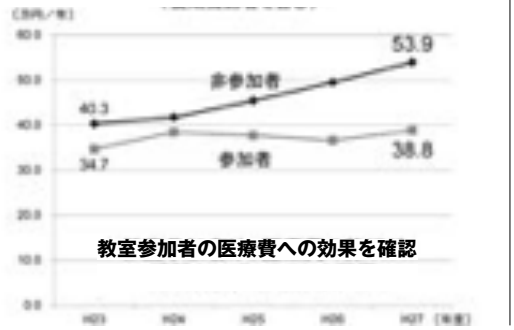
歩キングでは、事業所同士で競い合う「職場対抗歩キング選手権」が人気。また「健康・環境ポイント制度」のポイント使途は、学校園への寄付が多く、地域や団体で声を掛け合って取り組まれています。

キーワードは「人のつながり力」です。仲間と一緒に楽しみながら行う「人とのつながり」を生かした健康づくりを進めます。

《県内の国民健康保険医療費》（H26年度比較）



《玄さん元気教室参加者の医療費》（後期高齢者を含む）



《健康・環境ポイントの使途》（H28年度）

健康まちづくりの大きな成果

ポイント制度の参加者が5,000人を突破!!

5,000人目は区で
新たに参加した
清冷寺の皆さん
（写真は代表の小藤区長）

歩くことによる健康づくりを進めるため、平成23年度から始まった「健康・環境ポイント制度」。参加者がついに5,000人を突破しました！

たまったポイントは、保育所、幼稚園、小・中学校などへ寄付され、子どもたちのために使われたり、市内の温泉・運動施設の利用券などと交換でき、自身の健康づくりのために使われています。

楽しみながら人もまちも元気なる「健康・環境ポイント制度」。ぜひ、参加してください！